

2024年度一般選抜前期A日程（1月23日実施）

世 界 史 問 題

（17ページ～33ページ）

I

次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。

東フランク（ドイツ）では、カロリング朝断絶後に諸侯の選挙によって国王が選出されるようになった。ザクセン家のオットー1世は、ウラル語系の **A** を撃退した功績などから、962年にローマ教皇からローマ皇帝の帝冠を授けられた。これが神聖ローマ帝国の起源とされる。歴代の神聖ローマ皇帝はイタリア政策に熱心であったため、国内は不統一であった。11世紀には、聖職叙任権をめぐって教皇と衝突し、その後も対立が続いたが、⁽¹⁾12世紀前半に両者の妥協が成立した。1254年、**B** 朝が断絶すると、皇帝不在の「大空位時代」をむかえた。⁽²⁾1356年、神聖ローマ皇帝カール4世は金印勅書を発布し、皇帝選出の手続きを定めた。1414～18年には、宗教界の混乱を收拾するため、神聖ローマ皇帝の提唱によってコンスタンツ公会議⁽³⁾が開催された。また、1438年以降、ハプスブルク家が神聖ローマ皇帝位を実質的に世襲するようになった。

1517年、ドイツのマルティン＝ルターが九十五カ条の論題を発表したことから、⁽⁴⁾宗教改革が始まった。神聖ローマ皇帝カール5世は宗教改革への対処やオスマン帝国の圧迫に苦慮し、アウクスブルクで和議が成立した。宗教改革以降、新教徒と旧教徒の対立が激化し、ヨーロッパ各地で宗教戦争が勃発した。1618年には⁽⁵⁾三十年戦争が始まり、戦場となったドイツは荒廃した。また、この戦争の講和条約であるウェストファリア条約により、神聖ローマ帝国は有名無実化した。1740年、神聖ローマ皇帝カール6世が死去すると、娘であるマリア＝テレジアのハプスブルク家の全領土の継承をめぐってオーストリア継承戦争が起こった。マリア＝テレジアの息子であるヨーゼフ2世は、18世紀後半に神聖ローマ皇帝となり、⁽⁶⁾啓蒙専制君主として上からの近代化をはかったが、貴族の反発を招いた。

マリア＝テレジアの娘であるマリ＝アントワネットは、フランス国王ルイ16世の妃となったが、18世紀後半にはフランス革命が勃発した。マリ＝アントワネットの兄で神聖ローマ皇帝のレオポルト2世は、反革命の立場からプロイセン王とともにピルニッツ宣言を発したが、革命戦争を誘発した。⁽⁷⁾ナポレオンがヨーロッパ支配を進める中、1806年に **C**。これによって神聖ローマ皇帝フランツ2世は帝位を退き、神聖ローマ帝国は消滅した。

問1 空欄 **A** に入れる語句として、最も適当なものを、次の中から1つ選び、番号をマークしなさい。

A

- ① アヴァール人 ② デーン人 ③ リトアニア人
- ④ マジャール人 ⑤ ザクセン人

問2 ——— 線 (1) に関して、中世のイタリアに関する説明として、最も適当なものを、次の中から1つ選び、番号をマークしなさい。

I

- ① 北イタリア諸都市は、神聖ローマ皇帝に対抗するため、シュマルカルデン同盟を結成した。
- ② ジェノヴァやヴェネツィアなどの北イタリアの港市は、東方貿易（レヴァント貿易）によって香辛料などの奢侈品を取引した。
- ③ 毛織物業で栄えたフィレンツェは、大富豪のフッガー家によって支配された。
- ④ イタリア諸都市では、ゲルフとよばれる皇帝党とギベリンとよばれる教皇党が抗争した。

問3 ——— 線 (2) に関して、1122年に成立した妥協や当時の情勢に関する説明として、最も適当なものを、次の中から1つ選び、番号をマークしなさい。

U

- ① 妥協が成立したことによって、教皇権が伸張り、十字軍が始まった。
- ② 皇帝と教皇の争いが続く中、南イタリアとシチリアにまたがる王国が成立した。
- ③ 皇帝の権威が低下することによって、帝国内に身分制議会である模範議会が成立した。
- ④ イングランド国王が大憲章（マグナ＝カルタ）を認めることになった。

問4 空欄 **B** に入れる語句として、最も適当なものを、次の中から1つ選び、番号をマークしなさい。

E

- ① ヴァロワ ② プランタジネット ③ シュタウフェン
- ④ ハノーヴァー ⑤ ヤゲウォ（ヤゲロー）

問5 —— 線(3)に関して、コンスタンツ公会議で異端とされ、火刑に処された人物として、最も適当なものを、次の中から1つ選び、番号をマークしなさい。

オ

- ① コペルニクス ② フス ③ ジャンヌ＝ダルク
④ アベラール ⑤ ガリレイ

問6 —— 線(4)に関する説明として、最も適当なものを、次の中から1つ選び、番号をマークしなさい。

カ

- ① マルティン＝ルターは、ザクセン選帝侯の保護下で『新約聖書』をドイツ語に翻訳した。
② ジョン＝ボールは、農奴制の廃止などを訴えてドイツ農民戦争を指導した。
③ カルヴァンは、王権神授説を説いて職業労働を肯定した。
④ イギリスのメアリ1世は、統一法を制定してイギリス国教会を確立した。

問7 —— 線(5)に関する説明として、最も適当なものを、次の中から1つ選び、番号をマークしなさい。

キ

- ① ネーデルラントでの新教徒の反乱をきっかけとして始まった。
② 傭兵隊長ヴァレンシュタインは、新教側に立って神聖ローマ皇帝軍と戦った。
③ スウェーデン国王グスタフ＝アドルフは、新教徒支援を名目としてドイツに侵入した。
④ フランスのアンリ4世は、ハプスブルク家に対抗するため、新教側について参戦した。

問8 —— 線(6)に関する説明として、最も**不適当な**ものを、次の中から1つ選び、番号をマークしなさい。

ク

- ① フランスの啓蒙思想家ヴォルテールは、啓蒙専制君主に影響を与えた。
② プロイセンのフリードリヒ2世は、「君主は国家第一の僕」と称した。
③ オーストリアのヨーゼフ2世は、宗教寛容令や農奴解放などの改革を行った。
④ ロシアのエカチェリーナ2世は、農村共同体であるミールの解体を行った。

問9 ——— 線(7)に関する説明として、最も適当なものを、次の中から1つ選び、番号をマークしなさい。

ケ

- ① イタリア遠征やエジプト遠征によって名声を高めた。
- ② アカデミー＝フランセーズやフランス銀行を創設した。
- ③ トラファルガーの海戦で、ネルソン率いるイギリス艦隊に勝利した。
- ④ 航海法を無視したロシアに対し、ロシア遠征を行った。

問10 空欄 **C** に入れる語句として、最も適当なものを、次の中から1つ選び、番号をマークしなさい。

コ

- ① 西南ドイツ諸国をあわせたライン同盟が結成された
- ② 35君主国と4自由市からなるドイツ連邦が結成された
- ③ ティルジット条約が成立し、ポーランド地方にワルシャワ大公国が建てられた
- ④ オーストリアとハンガリーの同君連合によるオーストリア＝ハンガリー帝国が成立した

Ⅱ

次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。

1880年代以降、欧米各国はアジアやアフリカ、太平洋地域などに進出し、植民地の拡大をはかって各地で紛争を繰り返した。この時代は帝国主義の時代といわれる。

イギリスは、1877年にヴィクトリア女王を皇帝とするインド帝国を成立させた。アフリカ分割を主導したイギリスは、スーダンでは1881年に始まる⁽¹⁾ A の抵抗を鎮圧するとともに、⁽²⁾ アフリカ南部において勢力拡大をはかった。 また、⁽³⁾ 日清戦争において清が敗北すると、中国における利権獲得競争に乗り出した。 太平洋地域においては、18世紀以降開拓を進めていたが、1901年にはオーストラリア連邦を成立させ、1907年にはニュージーランドを自治領とした。

B 下のフランスでは、1880年代から植民地拡大政策が実行され、⁽⁴⁾ インドシナやアフリカに進出した。 ビスマルク体制のもとでフランスは外交的に孤立していたが、1890年代以降は⁽⁵⁾ 利強と結び、やがて三国協商を形成してドイツやオーストリアに対抗した。

ドイツでは、1888年に新皇帝ヴィルヘルム2世が即位した。⁽⁶⁾ ヴィルヘルム2世はビスマルクと対立し、1890年にはビスマルクを辞職させた。 その後、ヴィルヘルム2世は「世界政策」とよばれる帝国主義政策を推進し、海軍の拡張をはかった。

アメリカ合衆国は、⁽⁷⁾ 19世紀末以降、従来の孤立政策を転換して積極的に海外進出を行った。 1898年にはアメリカ＝スペイン（米西）戦争を起こしてスペインからフィリピンや⁽⁸⁾ C などの植民地を獲得し、同年にハワイを併合した。

ロシアでは、1890年代にバルカン半島や中央アジア、東アジアへの膨張政策が積極化した。一方、国内では専制政治の転換を求める声が強まり、日露戦争中に起こった血の日曜日事件をきっかけとして第1次ロシア革命が始まった。

問1 ——— 線(1)に関して、インド帝国の歴史に関する説明として、最も適切なものを、次の中から1つ選び、番号をマークしなさい。

ア

- ① インド帝国が成立すると、イギリス東インド会社は解散された。
- ② イギリスがベンガル分割令を公布すると、アギナルドの指導によって反英民族運動が高揚した。
- ③ イスラーム教徒は、親英的なイスラーム同盟（サレカット＝イスラーム）を結成した。
- ④ 1935年インド統治法により、インド人に州政治が委譲されることになった。

問2 空欄 **A** に入れる語句として、最も適当なものを、次の中から1つ選び、番号をマークしなさい。

イ

- ① ワッハーブ派 ② マフディー派 ③ バープ教徒
④ シパーヒー ⑤ ウラービー（オラービー）

問3 ——— 線 (2) に関して、次の図版のケープ植民地首相の名と、イギリスの帝国主義政策の組み合わせとして、最も適当なものを、下の選択肢の中から1つ選び、番号をマークしなさい。

ウ



- ① ネヴィル＝チェンバレン — 3 C 政策
② ネヴィル＝チェンバレン — 3 B 政策
③ ジョゼフ＝チェンバレン — 3 C 政策
④ ジョゼフ＝チェンバレン — 3 B 政策
⑤ ローズ — 3 C 政策
⑥ ローズ — 3 B 政策

問4 〃 線(3)に関して、列強の中国進出に関する説明として、最も適切なものを、次の中から1つ選び、番号をマークしなさい。

エ

- ① ロシアは、東清鉄道の敷設権を獲得した。
- ② イギリスは、遼東半島南部を租借した。
- ③ フランスは、福建地方を勢力圏とした。
- ④ ドイツは、威海衛を租借した。

問5 空欄 **B** に入れる語句として、最も適切なものを、次の中から1つ選び、番号をマークしなさい。

オ

- ① 第二共和政 ② 第二帝政 ③ 第三共和政
- ④ 第四共和政 ⑤ 第五共和政

問6 〃 線(4)に関連して、インドシナで起こった次の出来事を年代の古いものから順に並べたものとして、最も適切なものを、下の選択肢の中から1つ選び、番号をマークしなさい。

カ

- a フランスがカンボジアを保護国とした。
- b フランス領インドシナ連邦が成立した。
- c ベトナム光復会が組織された。

- ① a → b → c ② a → c → b ③ b → a → c
- ④ b → c → a ⑤ c → a → b ⑥ c → b → a

問7 〃 線(5)に関する説明として、最も不適当なものを、次の中から1つ選び、番号をマークしなさい。

キ

- ① ファショダ事件後に英仏協商が成立し、その後英露協商が結ばれた。
- ② 英仏協商で英仏両国は、エジプトをイギリス、コンゴをフランスの勢力圏として認めた。
- ③ 露仏同盟成立後、ロシアではフランスの資本が導入され、工業化が推進された。
- ④ 英露協商では、イランにおけるイギリスとロシアの利害が調整された。

問8 —— 線(6)に関する説明として、最も適当なものを、次の中から1つ選び、番号をマークしなさい。

ク

- ① ヴィルヘルム2世は、三帝同盟の結成に賛成した。
- ② ヴィルヘルム2世は、三帝同盟の結成に反対した。
- ③ ヴィルヘルム2世は、ロシアとの再保障条約締結に賛成した。
- ④ ヴィルヘルム2世は、ロシアとの再保障条約更新に反対した。

問9 —— 線(7)に関して、19世紀末以降にアメリカ合衆国が海外進出を積極化するようになった背景に関する説明として、最も適当なものを、次の中から1つ選び、番号をマークしなさい。

ケ

- ① アメリカ＝イギリス（米英）戦争により、イギリスからの経済的自立が進んだ。
- ② アメリカ＝メキシコ戦争により、カリフォルニアなどを獲得した。
- ③ フロンティアの消滅が宣言された。
- ④ 債務国から債権国に転じた。

問10 空欄 **C** に入れる語句として、最も適当なものを、次の中から1つ選び、番号をマークしなさい。

コ

- ① パナマ ② ハイチ ③ キューバ
- ④ ジャマイカ ⑤ プエルトリコ

Ⅲ

次の〔1〕・〔2〕の文を読んで、あとの問いに答えなさい。

〔1〕 シリアとエジプトの間に位置するパレスチナでは、前11世紀末にセム語系のヘブライ人によって王国が築かれ、イェルサレムが都とされた。前10世紀にはイスラエル王国とユダ王国に分裂し、ユダ王国は前586年に **A** によって滅ぼされた。その後、民族的苦難を経てユダヤ人の民族宗教であるユダヤ教が確立された。ローマ領となったパレスチナではキリスト教が成立し、4世紀にはローマ帝国の国教とされた。7世紀にアラビア半島でイスラーム教が成立すると、大規模な征服活動が展開された。パレスチナはイスラーム勢力の支配下に入り、ウマイヤ朝の時代になるとイェルサレムに岩のドームが建設された。こうしてイェルサレムはユダヤ教・キリスト教・イスラーム教の聖地となり、中世には、キリスト教勢力によって聖地奪還をはかる十字軍遠征が展開された。アイユーブ朝のサラディン（サラフ＝アッディーン）はイェルサレムを奪回し、 **B** と戦った。その後、パレスチナはマムルーク朝、オスマン帝国の支配下に入った。

問1 空欄 **A** に入れる語句として、最も適当なものを、次の中から1つ選び、番号をマークしなさい。

ア

- ① アケメネス朝 ② パルティア ③ 新バビロニア
- ④ アッシリア王国 ⑤ メディア

問2 ——— 線(1)に関する説明として、最も適当なものを、次の中から1つ選び、番号をマークしなさい。

イ

- ① 唯一神ヤハウエ（ヤーヴェ）を信仰した。
- ② 『旧約聖書』『新約聖書』をともに聖典とした。
- ③ 使徒のペテロやパウロによって伝道活動が行われた。
- ④ ユダヤ教の一派であるエピクロス派は、律法を重視した。

問3 〃 線(2)に関する説明として、最も**不適当な**ものを、次の中から1つ選び、番号をマークしなさい。

ウ

- ① 征服地にはミスルとよばれる軍営都市が建設された。
- ② ウマイヤ朝はイベリア半島に進出し、西ゴート王国を滅ぼした。
- ③ ウマイヤ朝はトゥール・ポワティエ間の戦いでフランク王国軍に撃退された。
- ④ アッバース朝は、ニハーヴァンドの戦いでササン朝に勝利した。

問4 空欄 **B** に入れる語句として、最も適当なものを、次の中から1つ選び、番号をマークしなさい。

エ

- ① 第2回十字軍 ② 第3回十字軍 ③ 第5回十字軍
- ④ 第6回十字軍 ⑤ 第7回十字軍

問5 〃 線(3)に関する説明として、最も適当なものを、次の中から1つ選び、番号をマークしなさい。

オ

- ① 都のカイロにクトゥブ＝ミナールを建設した。
- ② 第5代スルタンのマンスールは、モンゴル軍を撃退した。
- ③ マンサブダール制により、支配階層の統制をはかった。
- ④ メッカ・メディナの両聖都を保護下においた。

〔2〕 近代になると、オスマン帝国の衰退に乗じて、ヨーロッパ列強のオスマン帝国への介入が強まり、1853年にはクリミア戦争が起こった。19世紀後半になると、ヨーロッパでは反ユダヤ主義の動きが起こり、フランスではユダヤ系軍人をめぐるドレフュス事件が起こった。19世紀末には、パレスチナにおいてユダヤ人国家の建設をめざす⁽⁴⁾ C が提唱された。

第一次世界大戦が長期化すると、列強は秘密外交を展開して局面の打開をはかり、パレスチナにおいてはユダヤ人とアラブ人に対して相反する約束が結ばれた。⁽⁵⁾ 第一次世界大戦後、⁽⁶⁾ パリ講和会議によってパレスチナがイギリスの委任統治領とされると、イギリスはユダヤ人の入植を認めた。こうして世界各地からユダヤ人がパレスチナに移住したが、古くから住むアラブ人との間で対立が深まった。第二次世界大戦後、パレスチナ分割案に基づきパレスチナにイスラエルが建国されると、アラブ諸国はこれに反発し、以後4次にわたる中東戦争が展開された。⁽⁷⁾

問6 ——— 線(4)に関して、この事件に際して世論に再審を訴えたフランスの自然主義作家として、最も適当なものを、次の中から1つ選び、番号をマークしなさい。

カ

- ① トーマス＝マン ② バイロン ③ オーウェル
④ ヴィクトル＝ユゴー ⑤ ゾラ

問7 空欄 C に入れる語句として、最も適当なものを、次の中から1つ選び、番号をマークしなさい。

キ

- ① サンディカリズム ② 「ヴ＝ナロード」 ③ シオニズム
④ パルチザン ⑤ インティファダー

問8 ——— 線(5)に関する説明として、最も不適当なものを、次の中から1つ選び、番号をマークしなさい。

ク

- ① ロンドン秘密条約により、アメリカ合衆国が連合国側について参戦した。
② フセイン（フサイン）・マクマホン協定により、イギリスはアラブ人の独立を約束した。
③ バルフォア宣言により、イギリスはユダヤ人国家設立を認めた。
④ サイクス・ピコ協定により、連合国間でオスマン帝国領の配分を約束した。

問9 ——— 線(6)に関して、パリ講和会議に参加したアメリカ合衆国・イギリス・フランスの首脳の組み合わせとして、最も適当なものを、次の中から1つ選び、番号をマークしなさい。

ケ

- | | | |
|-------------------|--------------|------------|
| ① 米 — ハーディング | 英 — ロイド＝ジョージ | 仏 — クレマンソー |
| ② 米 — ハーディング | 英 — ロイド＝ジョージ | 仏 — ブリアン |
| ③ 米 — ハーディング | 英 — マクドナルド | 仏 — クレマンソー |
| ④ 米 — ハーディング | 英 — マクドナルド | 仏 — ブリアン |
| ⑤ 米 — ウッドロー＝ウィルソン | 英 — ロイド＝ジョージ | 仏 — クレマンソー |
| ⑥ 米 — ウッドロー＝ウィルソン | 英 — ロイド＝ジョージ | 仏 — ブリアン |
| ⑦ 米 — ウッドロー＝ウィルソン | 英 — マクドナルド | 仏 — クレマンソー |
| ⑧ 米 — ウッドロー＝ウィルソン | 英 — マクドナルド | 仏 — ブリアン |

問10 ——— 線(7)に関する説明として、最も適当なものを、次の中から1つ選び、番号をマークしなさい。

コ

- ① 第2次中東戦争は、エジプトのナセルが石油の国有化を宣言したことをきっかけとして始まった。
- ② 第3次中東戦争により、イスラエルはシナイ半島などを占領した。
- ③ 第4次中東戦争をきっかけとして、ドル＝ショックが起こった。
- ④ 第4次中東戦争後、パレスチナ解放機構（PLO）が結成された。

IV

次の〔1〕～〔3〕の文を読んで、あとの問いに答えなさい。

〔1〕 中国の周辺で興亡した異民族は、古くから中国王朝と対立や抗争を繰り返し広げた。中国は周辺の異民族のことを「夷狄」と称し、東を夷、西を戎、南を蛮、北を狄とよんだ。周の東遷は、中国西方にいた遊牧民である犬戎の攻撃が原因の1つとされる。初めて中国を統一した秦⁽¹⁾は、モンゴル高原南部で勢力を拡大した匈奴の侵入に対抗するため、戦国時代以来の長城を修築した。匈奴は前3世紀末に即位した冒頓单于のもとで最盛期をむかえ、前漢の高祖を破った。高祖は匈奴に対して和親策をとったが、前漢の武帝は匈奴を挟撃するため **A** を大月氏に派遣した。匈奴は武帝の討伐によって次第に衰退し、前60年に東西に分裂した。さらに東匈奴は後1世紀半ばに南北に分裂し、南匈奴は⁽²⁾後漢に服属した。

問1 〃 線(1)に関する説明として、最も不適当なものを、次の中から1つ選び、番号をマークしなさい。

ア

- ① 法家の商鞅は、秦に仕えて改革を行った。
- ② 中国統一後、郡国制を全国に施行した。
- ③ 中国統一後、焚書・坑儒によって思想を統制したとされる。
- ④ 秦末になると、陳勝・呉広の乱が起こった。

問2 空欄 **A** に入れる語句として、最も適当なものを、次の中から1つ選び、番号をマークしなさい。

イ

- ① 班超 ② 張騫 ③ 蘇秦 ④ 張儀 ⑤ 鄭和

問3 〃 線(2)に関する説明として、最も不適当なものを、次の中から1つ選び、番号をマークしなさい。

ウ

- ① 劉秀が漢を復興し、洛陽を都とした。
- ② 製紙技術が改良された。
- ③ 大秦王安敦の使節が日南郡を訪れた。
- ④ 黄巢の乱の後、各地に軍事集団が割拠するようになった。

〔2〕 五胡十六国時代になると、遊牧系の諸民族の建てた国が華北に興亡するようになった。五胡の1つである **B** が建てた北魏は、5世紀前半には華北を統一した。以後、華北には北朝と総称される王朝が興亡し、隋・唐代に継承される諸制度が生み出された。唐代になると、唐を中心とする東アジア文化圏が形成された。唐は朝鮮などと冊封関係を結ぶ一方、突厥やウイグル、吐蕃などの強国とは姻戚関係を結んだ。

北宋の時代には、契丹や西夏などの北方民族の圧迫を受けた。1126～27年には金によって北宋の都が攻略され、皇帝や皇族などが北方に連れ去られた。13世紀になると、モンゴル人がユーラシアの東西にわたる大帝国を築き、フビライの時代になると国号が中国風の元と改められた。

問4 空欄 **B** に入れる語句として、最も適当なものを、次の中から1つ選び、番号をマークしなさい。

エ

- ① 鮮卑 ② 羯 ③ 氐 ④ 羌 ⑤ 烏孫

問5 ——— 線 (3) に関する説明として、最も適当なものを、次の中から1つ選び、番号をマークしなさい。

オ

- ① ソンツェン＝ガンポによって建てられた。
② 上京竜泉府を都とした。
③ 安史の乱の鎮圧を援助した。
④ トルコ系のスキタイによって滅ぼされた。

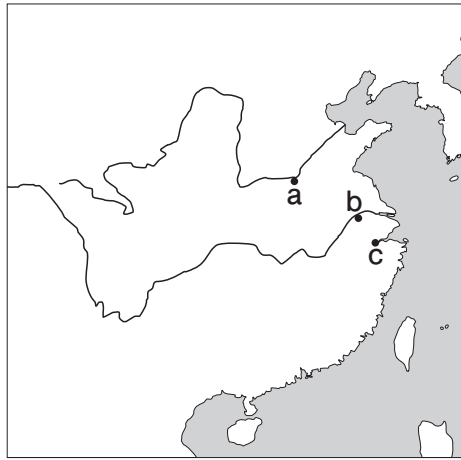
問6 ——— 線 (4) に関する説明として、最も適当なものを、次の中から1つ選び、番号をマークしなさい。

カ

- ① 李元昊によって建てられた。
② 後晋から燕雲十六州を割譲された。
③ 北宋と澶淵の盟を結んだ。
④ 軍制として千戸制をしいた。

問7 ——— 線(5)に関して、北宋の都と、次の地図中の位置の組み合わせとして、最も適当なものを、下の選択肢の中から1つ選び、番号をマークしなさい。

キ



- | | |
|----------|----------|
| ① 建康 — a | ② 建康 — c |
| ③ 臨安 — b | ④ 臨安 — c |
| ⑤ 開封 — a | ⑥ 開封 — b |

〔3〕 明代になると、モンゴル高原西部ではオイラト、モンゴル高原東部では韃靼（タタール）が勢力を拡大した。オイラトは1449年の土木の変で明の皇帝を捕虜とし、韃靼（タタール）は16世紀半ばに北京を包囲した。⁽⁶⁾このように北方でモンゴルが侵入したことで、東南沿岸で倭寇が活動したことは、北虜南倭と総称される。

17世紀前半になると、中国東北部では女真（女直、のち満州と改称）が台頭し、ヌルハチによって後金が樹立された。ヌルハチは、Cなど、国家体制を整えた。李自成の乱によって明が滅亡すると、清は北京に入城して遷都し、中国全土へと支配を広げた。⁽⁷⁾その後、康熙帝・雍正帝・乾隆帝の時代にかけて清は最盛期をむかえた。

問8 ——— 線(6)に関して、土木の変を起こしたオイラトの指導者と、土木の変で捕虜とされた明の皇帝の組み合わせとして、最も適当なものを、次の中から1つ選び、番号をマークしなさい。

ク

- ① アルタン — 正統帝
- ② アルタン — 万暦帝
- ③ アルタン — 同治帝
- ④ エセン — 正統帝
- ⑤ エセン — 万暦帝
- ⑥ エセン — 同治帝

問9 空欄 **C** に入れる語句として、最も適当なものを、次の中から1つ選び、番号をマークしなさい。

ケ

- ① 満州語を表記するため字喃（チュノム）を制作する
- ② 満州語を表記するためパスパ文字を制作する
- ③ 軍事・行政組織として猛安・謀克を創始する
- ④ 軍事・行政組織として八旗を創始する

問10 ——— 線(7)に関して、清の中国支配に関する説明として、最も適当なものを、次の中から1つ選び、番号をマークしなさい。

コ

- ① 中央官制の要職は、満州人によって独占された。
- ② 村落制度として里甲制を創始した。
- ③ 漢人男性に対し、満州人の風俗である辮髪を強制した。
- ④ 大規模な編纂事業が行われ、『四書大全』や『五經大全』が編纂された。